

平成 31 年 1 月 25 日

保護者各位

宮城県仙台第一高等学校
校長 小林 裕 介
(公 印 省 略)

平成 30 年度「生徒・保護者共通アンケート」集計結果について（報告）

厳寒のみぎり、保護者のみなさまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「生徒・保護者共通アンケート」の実施に際しましては、お忙しい中にもかかわらず、ご回答いただき誠にありがとうございました。調査結果の集計がまとまりましたので、下記の通りご報告いたします。この結果を真摯に受け止め、今後の教育活動に生かし、さらなる学校の活性化とより良い学校づくりを推進していきたいと考えております。

今後とも、本校の教育活動により一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

記

1 実施期間 平成 30 年 11 月 13 日(火)～平成 30 年 11 月 19 日(月)

2 回答人数及び回答率

	教職員	保護者	生徒全体	男子生徒	女子生徒
回答数	55	527	880	544	336
回答率	96%	55%	91%	91%	92%

3 調査内容(14 項目)

下記(1)～(14)の項目について「そう思う」、「大体そう思う」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の 4 段階で回答していただいた。

- (1)学ぶ意欲を引き出し、学力を身に付けられるような授業が行われている（学習指導）
- (2)挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われている（生徒指導）
- (3)進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている（進路指導）
- (4)教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている（教育相談）
- (5)部活動は活発に行われている（部活動）
- (6)生徒会活動は活発に行われている（生徒会活動）
- (7)有意義な学校行事がある（学校行事）
- (8)地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる（特色ある学校づくり）
- (9)災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている（防災教育）
- (10)学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている（開かれた学校づくり）
- (11)校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている（施設設備）
- (12)学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる（いじめ対応）
- (13)学校生活は充実している（総合満足度）

(14)生徒にとって,SSH の活動は有意義に行われている (SSH)

4 調査結果 (概要) と関係部署からのコメント

- (1) 肯定的な意見が生徒全体および保護者において 85 %を超えており、よく評価してもらっていることがうかがえます。教務部として、この状況を維持、更には向上をめざし、なおかつ新学習指導要領を見据えた学習指導になるよう、授業改善を呼びかけていくつもりです。
- (2) 引き続き本校の生徒指導についてご理解いただけるよう地道に伝えていくとともに、LHR で行っている「社会的マナー」をテーマとした討論会などを通して、生徒間の気づきにより自浄作用が機能するよう働きかけていきたいと考えています。
- (3) 生徒本人の進路に対する意識を高めることが第一であると考えていますので、各種の進路行事を通して生徒自身に進路について考えさせる機会を多く設けています。それらの行事等が一人ひとりの進路意識を高めることと上手く結びついていない部分もあるようですので、うまく結びつくように工夫していきたいと思います。
- (4) 生徒・保護者ともに昨年度より体制に理解が増えたと思われます。しかし、重要な案件が増えつつある現状に鑑み、さらなる連携を本人・保護者・担任・学年・カウンセラー等と取っていきたいと考えています。また、教職員間での理解を深め、今後とも相談体制の充実を図っていききたいと思います。
- (5) (6) (7) 生徒が中心となって活動する部活動・生徒会活動・学校行事については、比較的良好な回答が得られているので、今後も生徒が充実した生活が送れるよう継続して支援していきたいと思います。
- (8) ほぼ肯定的な意見ですが、問いの解釈で生徒・保護者・教員で数値に違いが出たのではないかと考えています。「本校はどういった特色を持つ学校か」と尋ねられると意外に答えにくいと感じます。生徒の回答で、わかりやすい特色である「学校行事」が95.7%,「SSH」について92.4%の肯定的意見に対して「特色」に対しては84.4%となっていますが、それは「地域と伝統に根ざした」という表現にひっかかりを感じているのか、それとも学校側の姿勢に「特色ある学校づくりに取り組んでいる」とは見えない面があるのかは判別しづらいところです。さらに生徒の意識を理解していく必要があるのではないかと考えます。
- (9) 全般的に前年度より大きくポイントを下げた項目です。今年度予告なしの防災訓練(11月・火災訓練)を実施したこと、通常とは違う経路で避難させたことが生徒・教員からの低評価につながったと考えています。生徒の安全を確保するために改善を加え、日頃からの取り組みを徹底していく必要があると考えます。具体的には生徒には4月当初掲示した避難経路をより意識させること、防災の意識を高めるために折を見てHR・授業などで触れていきたいと考えています。また、PTA総会などの機会を活用してお知らせしたいと考えています。
- (10) 「学校だよりを出すべきでは」、「学校側からのプリントが手元に届かない」などの保護者からのご意見だけでなく、生徒・教員からも評価の低かった項目です。「学校だより」と銘打ったものではありませんが、各部署から多くのお知らせが出ています。生徒に対しては「家庭とも共有するように」という声かけを行いますが、ご家庭でも日常的な声かけのご協力をお願いしたいと思います。
- (11) 「そう思う」「大体そう思う」と答えた割合が、生徒で前年度比0.6ポイント増の83.1%,保護者で0.8ポイント増の88.8%となっていますが、教職員では13.5ポイント減の50.9%となっています。生徒・保護者では、施設・設備全体という視点で「整備されている」と感じているものと思われますが、ここ数年の夏の猛暑によるエアコン設置要望や、校舎の構造上からくる安全面での問題である「外部からの侵入のし易さ」、「校舎内各所の暗さ」等に関する意見から、本校の抱える潜在的な課題が見えて

きました。一方、教職員でもエアコン設置要望は多く寄せられますが、教室はもちろんのこと執務等への設置率の低さがこの数値につながっているものと推察しています。また、教室の黒板の反射による見えづらさに対する意見もあります。教室等及び執務室へのエアコンの設置に関しては、県全体での施策に基づくものとなるため、今後の動向を踏まえながら適宜対処していきたいと考えます。また、教室黒板の改修等に関しては、県立学校 ICT 機器推進事業において、順次全ての黒板をプロジェクター投影用黒板に更新する計画となっているため、同様に動向を踏まえながら適宜対処していきたいと考えます。校舎の構造を原因とした安全面での課題については、対処方法や校内運用も考慮し検討を加えていきたいと思ひます。

(12) いじめ対応については、学年集会や LHR 討論会で「いじめ」について話題として取り上げ、考えさせる機会を持たせています。また、毎考査後に計 4 回の調査を行い、生徒のいじめに関する実態を把握するようにしています。調査結果については、本校のいじめ防止基本方針（HP 掲載）に沿って不安要素等の共有を職員間で迅速かつ緊密に行っています。

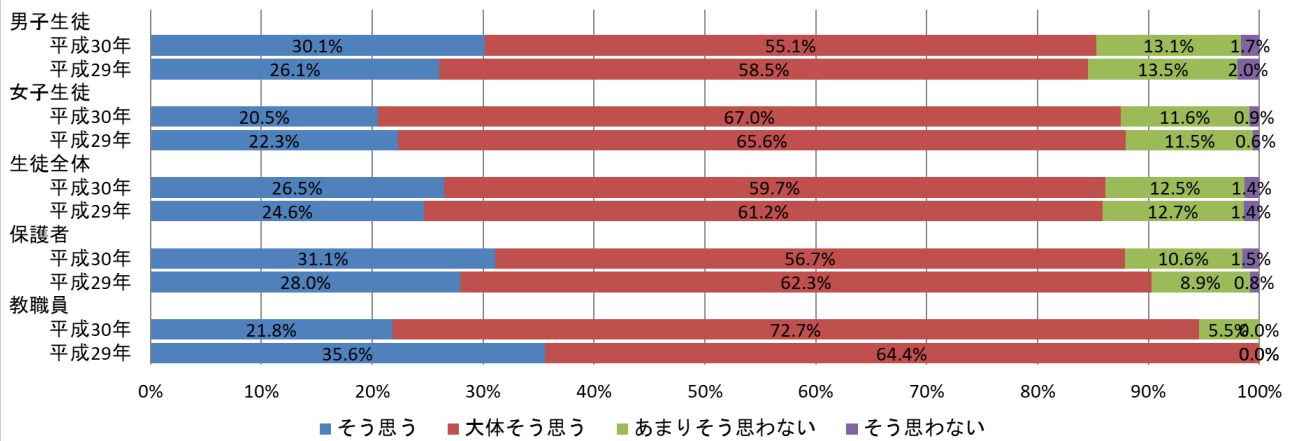
(14) 生徒・保護者は、本校の SSH の目的である「生徒にとって、課題発見・解決能力や論理的思考力を伸ばすような SSH 活動」をよく理解したうえで回答しており、「そう思う」「大体そう思う」が 9 割を超えたと考えます。特に「そう思う」との回答は男子(54.2%)より女子(59.2%)が多い。また、「あまりそう思わない」「そう思わない」とする回答も男子(5.1%,2.2%)より女子(4.5%,0.9%)が低いことから、男子より女子がよりその目的を理解していると推測します。生徒自身、また、保護者が SSH 活動を通しての変容・効果を実感したうえでの好意的な回答と考えます。また、教員では「あまりそう思わない」とする回答が 27.3%ありました。指導が円滑に行われていない状況であるならば、SSH 研究部としても支援していきたいと考えます。

5 調査結果（数値）

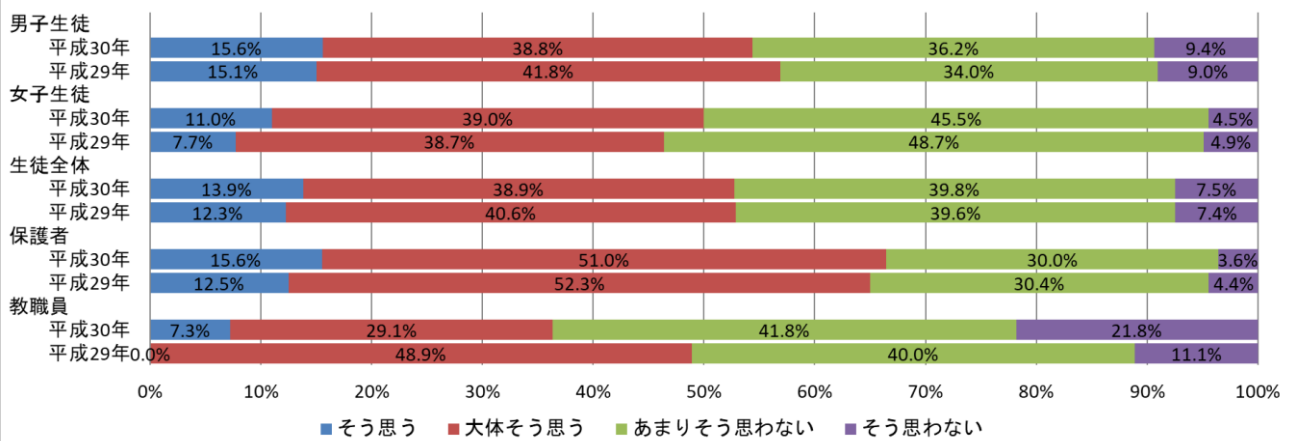
調査項目ごとの肯定的な回答（「そう思う」または「大体そう思う」）の割合、順位、前年度比較の増減値をまとめたものです。

調査項目	生徒全体	順位	前年比増減	保護者	順位	前年比増減	教職員	順位	前年比増減
(1) 学習指導	85.9%	4	-0.9ポイント	90.3%	5	5ポイント	100.0%	1	11.4ポイント
(2) 生徒指導	52.9%	13	-0.7ポイント	64.8%	12	1.9ポイント	48.9%	13	11.7ポイント
(3) 進路指導	85.1%	5	-2.1ポイント	86.3%	8	3.1ポイント	77.8%	9	6.3ポイント
(4) 教育相談	76.2%	11	-4.6ポイント	79.6%	10	-4.5ポイント	84.4%	8	-1.3ポイント
(5) 部活動	95.5%	1	-1ポイント	96.9%	1	0ポイント	97.8%	3	-2.2ポイント
(6) 生徒会活動	76.7%	10	-0.4ポイント	89.6%	6	0.5ポイント	93.3%	5	1.9ポイント
(7) 学校行事	95.3%	2	-1.2ポイント	96.7%	2	-1.2ポイント	100.0%	1	2.9ポイント
(8) 特色ある学校づくり	84.8%	6	-3.6ポイント	91.1%	4	-3.1ポイント	71.1%	11	-3.2ポイント
(9) 防災教育	83.7%	7	9.7ポイント	85.5%	9	4ポイント	88.9%	6	-2.5ポイント
(10) 開かれた学校づくり	81.5%	9	-3ポイント	79.3%	11	1.9ポイント	73.3%	10	4.8ポイント
(11) 施設設備	82.5%	8	-2ポイント	88.0%	7	-0.4ポイント	64.4%	12	-15.6ポイント
(12) いじめ対応	67.8%	12	-9.4ポイント	59.0%	13	3.3ポイント	86.7%	7	3.8ポイント
(13) 総合満足度	93.6%	3	-0.2ポイント	95.7%	3	-0.2ポイント	97.8%	3	0.6ポイント

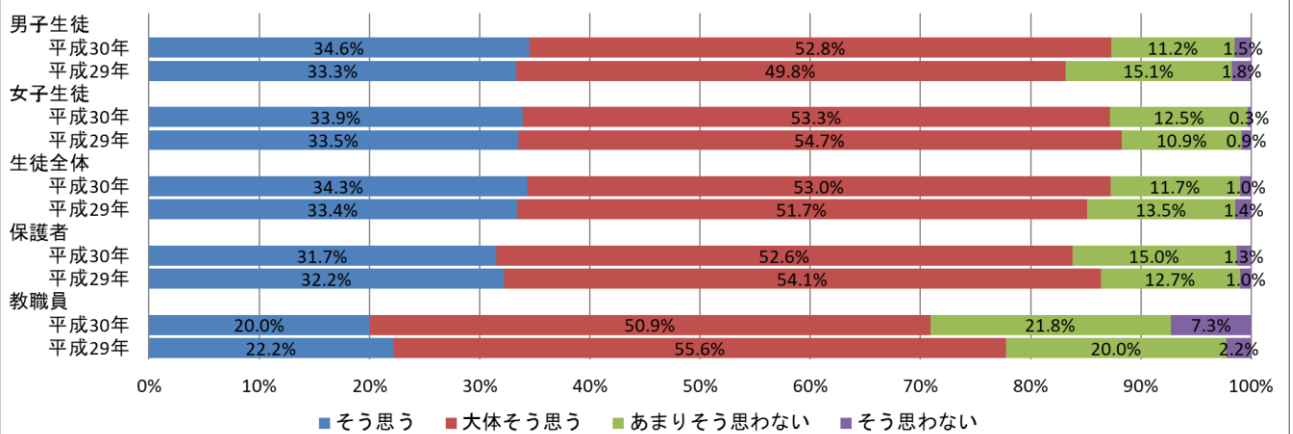
1 学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている



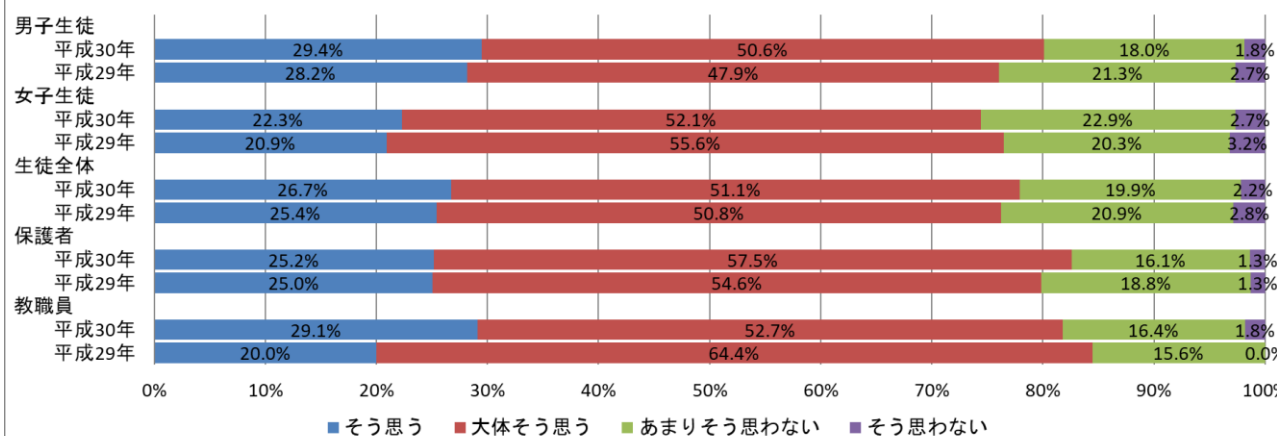
2 挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている



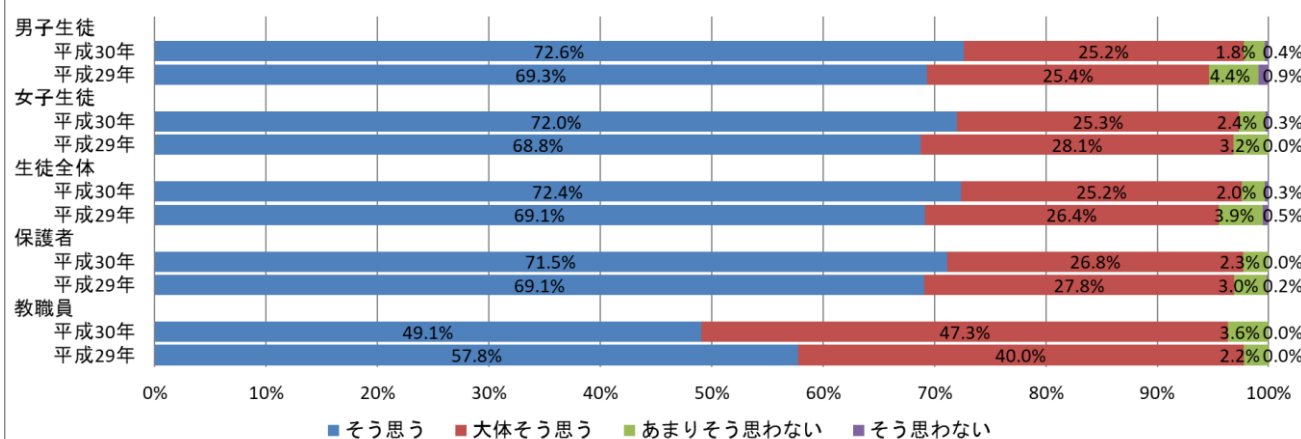
3 進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている



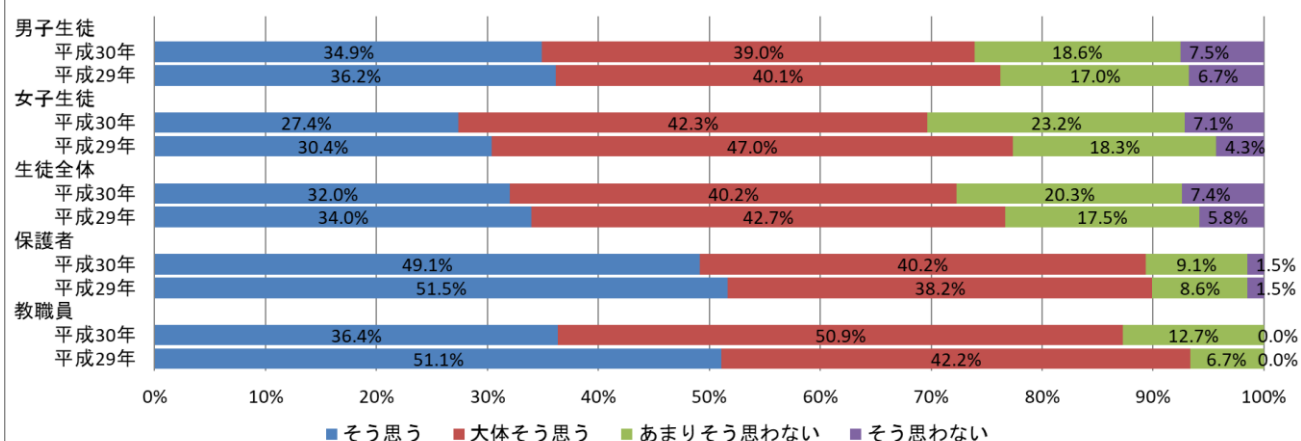
4 教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている



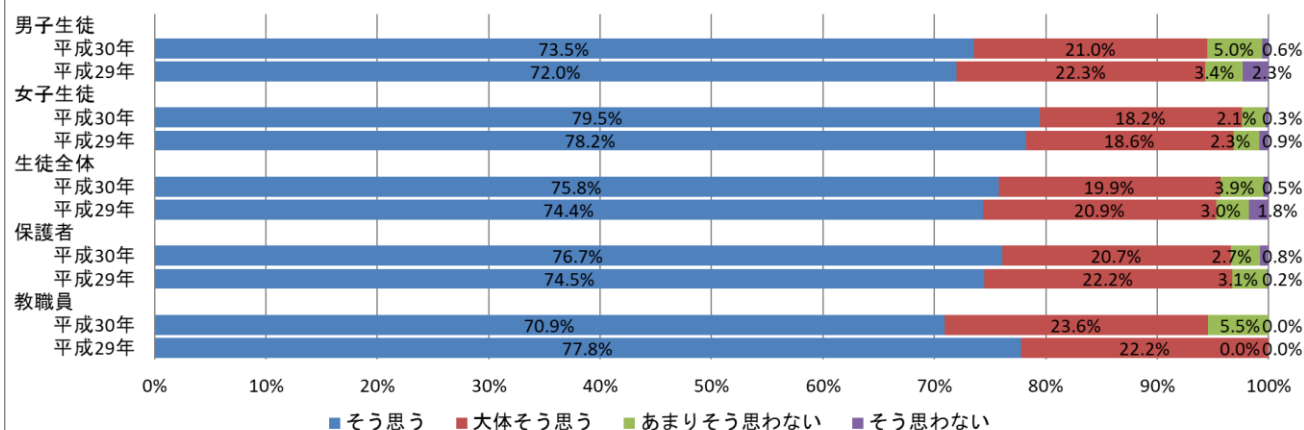
5 部活動は活発に行われている



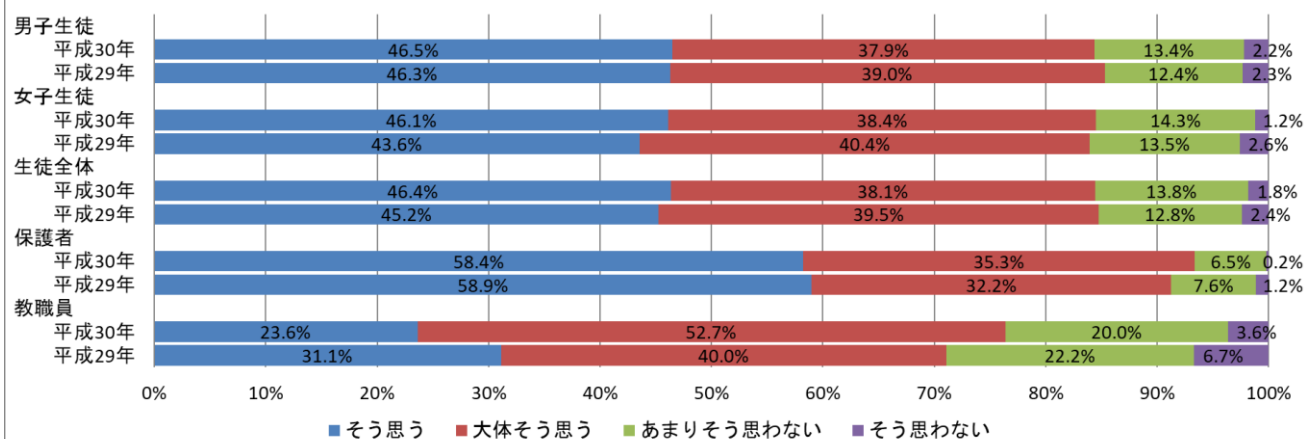
6 生徒会活動は活発に行われている



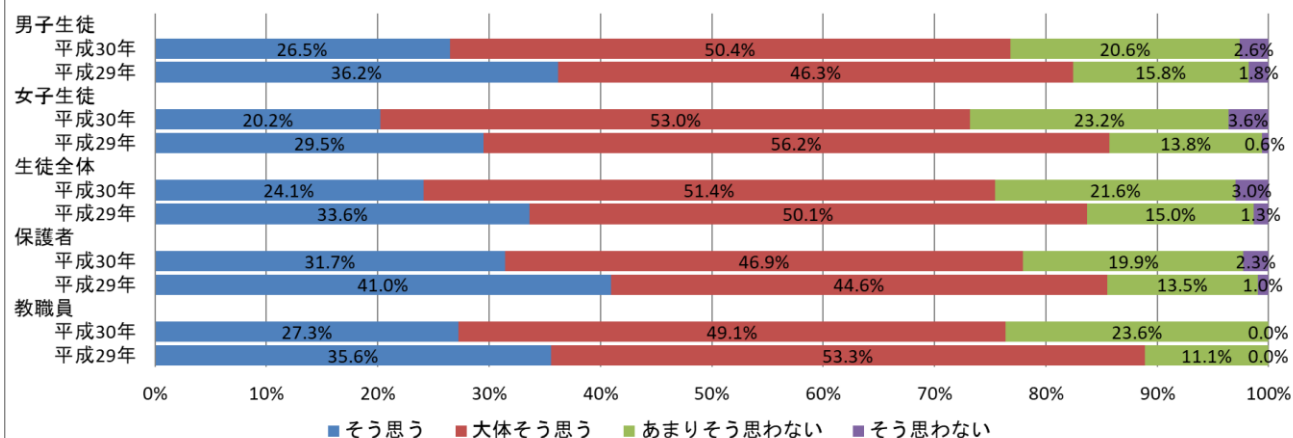
7 有意義な学校行事がある



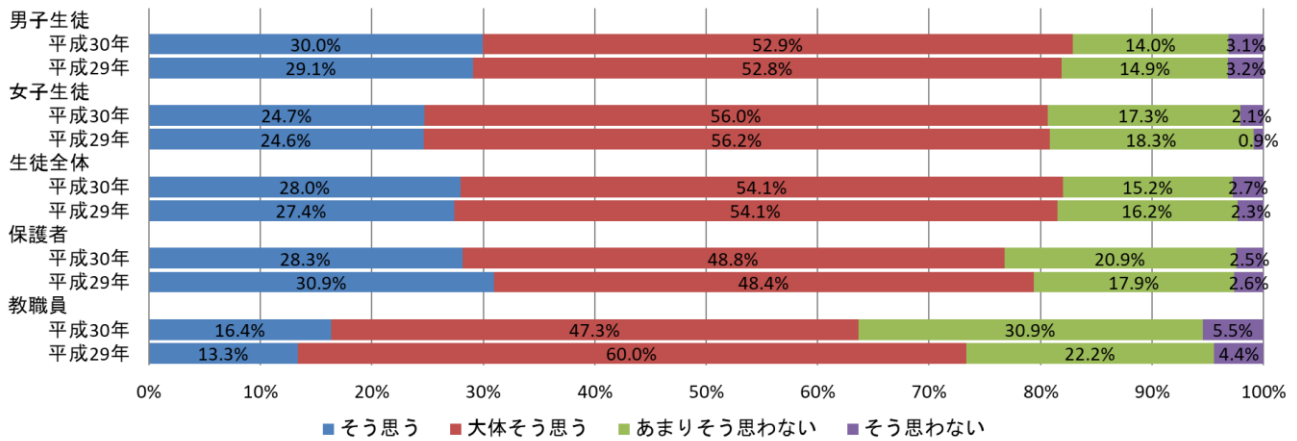
8 地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる



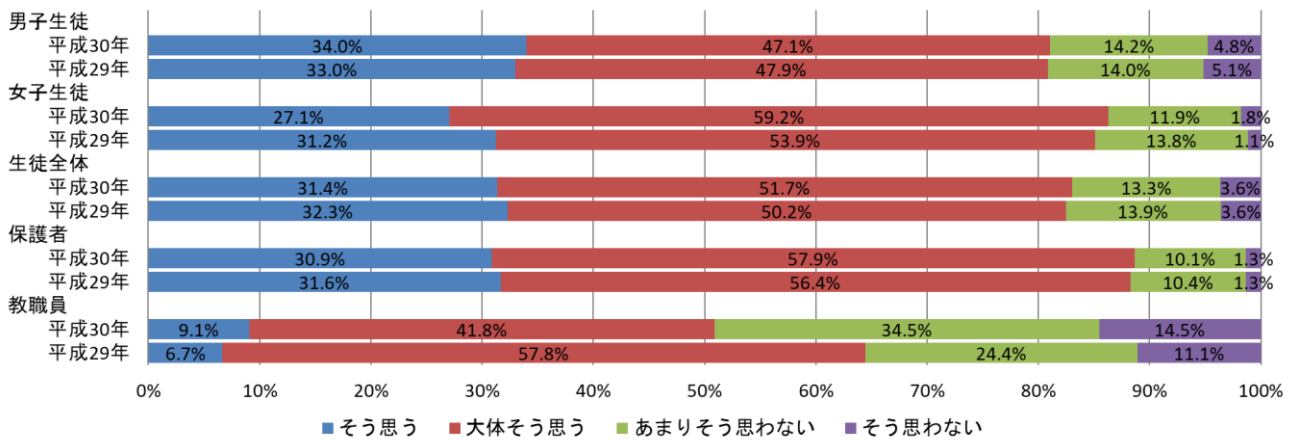
9 災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている



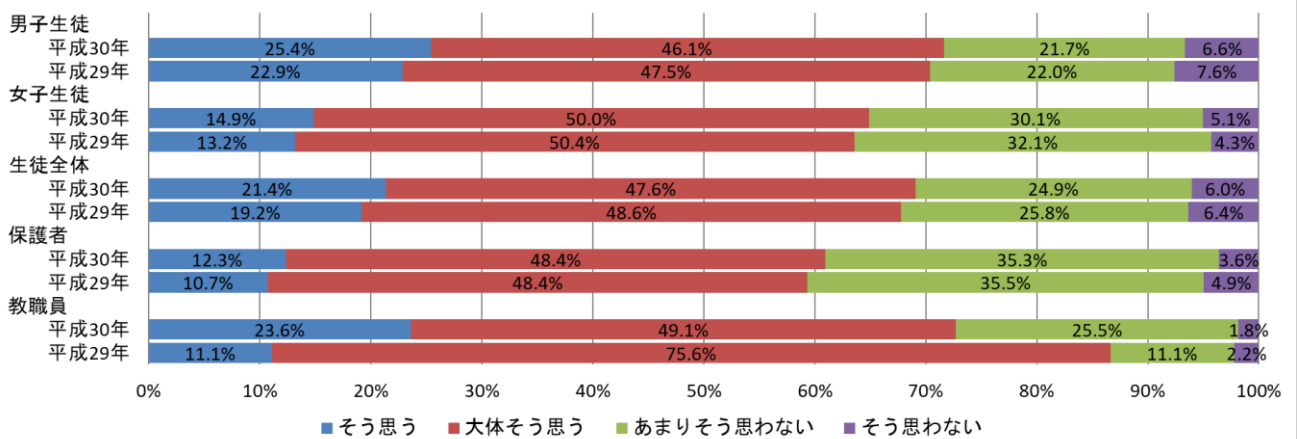
10 学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている



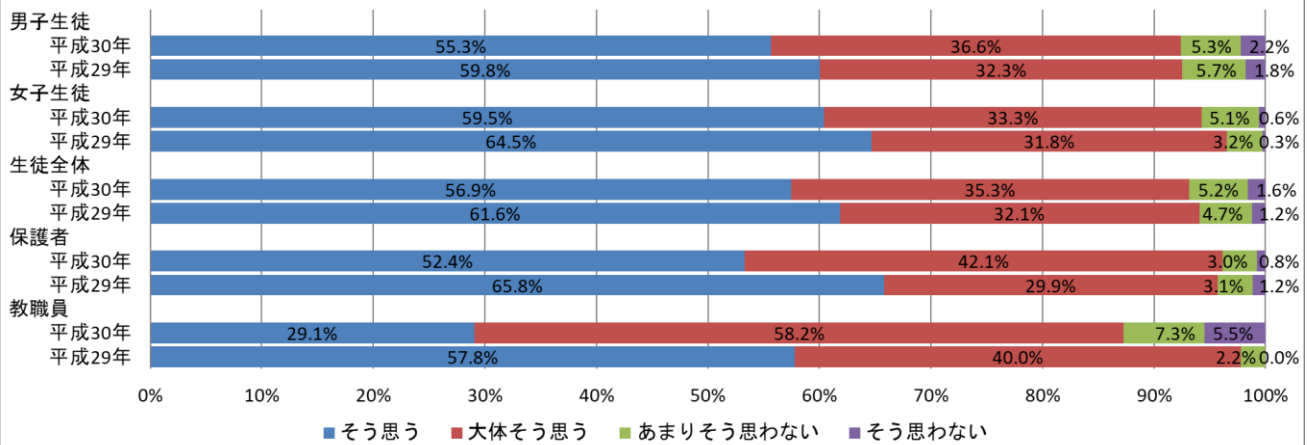
11 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている



12 学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる



13 学校生活は充実している



14 生徒にとって、課題発見・解決能力や論理的思考を伸ばすようなSSHの活動が行われている

